

全国中学生人権作文コンテスト

法務省と全国人権擁護委員連合会は、人権尊重思想の普及高揚を図るための人権啓発活動の一環として、昭和56年度から毎年全国の中学生を対象に、「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しており、これを受けて、長崎地方法務局と長崎県人権擁護委員連合会では、同コンテストの長崎県大会を実施しています。

このコンテストは、次代を担っていく中学生の皆さんが、日常の家庭生活や学校生活等の中で起こった出来事など、自らの体験を踏まえて、人権について考え、作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けていただくことを目的として実施しており、今回で43回目を迎えました。

[「詳しくは、法務省ホームページをご覧ください。」](#)



「第43回全国中学生人権作文コンテスト長崎県大会」について

令和6年度は、長崎県内の全中学校の82.1%に当たる147校から、15,888編の応募があり、その中から、2編の最優秀賞、9編の優秀賞、3編の奨励賞が選出されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

また、令和6年12月7日（土）、長崎原爆資料館ホールにおいて、受賞者に対する表彰式及び受賞作品の朗読会が行われました。みなさんの思いがこもった朗読は、参加者全員に感動を与えてくれました。

本大会の作品集は、[こちらからご覧ください。](#)

なお、印刷物やインターネット上に、受賞作品の掲載を希望される場合は、必ず、事前に長崎地方法務局人権擁護課（TEL：095-820-5982）までお知らせください。